



新県立新庄病院 10月1日開院

最上エコポリス通信

— mogami ecopolis tsushin —

2023年10月号

山形県最上総合支庁 隔月発行

最新情報はX(旧ツイッター)でご覧ください



山形県知恵袋委員会（最上地域）

8月28日、最上総合支庁において、様々な分野でご活躍されている最上地域の先輩方の知恵や知識を県政に反映するため、山形県知恵袋委員会（最上地域）を開催しました。

県庁とオンラインでつないで、知事からの委員委嘱を執り行った後、「山形の誇れる良さと、その楽しみ方」をテーマに、最上地域の6名の委員から様々な内容のご意見をいただきました。

多くの県民の皆様にも、山形で暮らすことの幸せに改めて目を向けていただけるよう、頂戴したご意見を広く発信してまいります。また、委員のご意見を踏まえ、最上地域の課題であります若者・女性の定着や回帰等につながるよう取り組んでまいります。

【知恵袋委員（最上地域）（五十音順）】

- ・ 齊藤 則子委員（最上町）・ 庄司 一夫委員（真室川町）
- ・ 鈴木 京子委員（戸沢村）・ 曾根田真利子委員（舟形町）
- ・ 正野 賢一委員（金山町）・ 八鍬 雪子委員（大蔵村）

[総務課 29-1210]



委員委嘱



山形県知恵袋委員会（最上地域）

小学生が一日知事体験！

7月31日と8月4日、県庁で「子ども知事室」が開催されました。県内4地域から各日12名の小学5・6年生の子どもたちに参加いただきました。

午前には吉村知事から一日知事の任命を受けた後、知事との懇談を行いました。子どもたちは「県ではどのような仕事をしているのですか。」「県立新庄病院に期待する役割は何ですか。」といった質問を行い、熱心にメモを取りながら知事の説明を聴いていました。

午後は工業技術センターや農業総合研究センターを見学し、県の産業を支える様々な技術について学びました。

県では引き続き、子どもたちが県の事業に関心を持ち、ふるさとへの理解を深められるよう取り組んでまいります。

[子ども家庭支援課 29-1221]



伊藤大悟さん
（舟形小5年）

小野心春さん
（金山小5年）



五十嵐莉乃さん
（升形小6年）

今田智仁さん
（明倫学園6年）

最上地域森の感謝祭2023

9月2日、最上地域の豊かな自然に感謝し、県民みんなで支える新たな森づくりを推進するため「最上地域森の感謝祭2023」が鮭川村エコパークで開催されました。

コロナ禍以降、4年ぶりの開催となり、緑の少年団員71名を含む約200名の方に参加いただきました。

今回の開催テーマは「守り続けよう 私たちの森（シン）ボル」で、森づくりリレー旗伝達、緑化功労者の表彰、代表者による桜への施肥が行われました。

そのほか、森づくり活動として一般参加者による歩道へのチップ敷き、緑の少年団による原木しいたけの植菌体験、マイ箸づくり、草木染め体験が行われました。

[森林整備課 29-1348]



Enjoy! ジモト大学!

ジモト大学
instagram



地域の大人と高校生が、地域のことを本気で語り、学び、交流する場が「新庄・最上ジモト大学」です。今年度も続々プログラムが実施され、多くの高校生に参加いただきました。

■高校生発案! 「Fiesta Festa2023」

8月19日～26日、こらっせ新庄において高校生たちが企画したイベント「Fiesta Festa2023」が実現しました。古着販売、縁日運営、映えるジュースの販売など、高校生がスタッフとなり奮闘し、地域を盛り上げてくれました。

■世代間交流で健康づくり! モルック大会 (金山町提供プログラム)

8月11日、金山町農村環境改善センターにおいてモルック大会が開催されました。小学生や地域の大人も参加し、世代を超えて盛り上がりました。

■モンナッツ第2弾始動! (新庄信用金庫提供プログラム)

9月9日、万場町「のくらし」で「モンナッツ」(金山町産ピーナッツを使ったスイーツ)の販売、さらなる開発に向け購入者への聞き取りを実施しました。高校生のアイデアで、次はどんなスイーツができるのか楽しみです。

今後も、キャリア、ものづくり、イベント運営など様々なプログラムを実施予定ですので、高校生の参加をお待ちしております。SNSでも活動の様子を発信していますので、ぜひご覧ください。

[連携支援室 29-1236]



～親が子どもにできること～ 高校生保護者を対象にした進路セミナー

8月31日、新庄北高等学校の保護者を対象に進路セミナーを開催し、56名の方に参加いただきました。山形大学学術研究院の松坂暢浩教授から「高校卒業後の進路選択～親が子どもにできること～」と題し、求人状況と就職活動の流れ、企業が求める人材、県内企業の探し方などについてお話いただきました。

株式会社双葉建設コンサルタント代表取締役社長 海藤 剛 氏、山形航空電子株式会社 総務部課長 高橋 秀哉 氏をゲストに迎えてのトークセッションでは、「新庄・最上地域を活性化していくためには、地域の将来を担う若者の定着が大切。」「就職にどんな資格を持っているといいかと聞かれるが、様々な研修がある。入社後に教育・育成するので、普通免許だけ取得してきてほしい。」といった企業の生の声が聞かれました。

参加者からは、「大学受験だけを目指すのではなく、その先も考えながら子どもと進路について考えたい。」等の感想が聞かれました。

[地域産業経済課 29-1309]



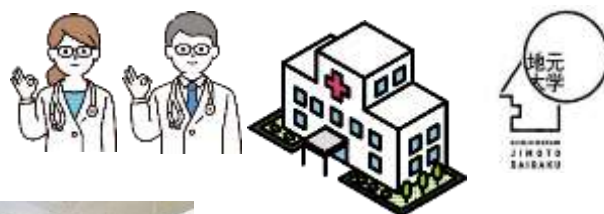
～最上地域で医療・介護従事者として働くということ～

☆聞いてみよう！最上の医療・福祉のはなし&医療現場見学会&学習会☆

8月7日、新庄市民プラザにおいて医療職に関心のある高校生を対象に「聞いてみよう！最上の医療・福祉のはなし」を開催し、地元の医療現場で活躍する医療従事者の先輩からお話を聞きました。参加者は前半は「看護師」、「作業療法士」の2つ、後半は「薬剤師」、「助産師」、「理学療法士」の3つのコースに分かれ、真剣に耳を傾けていました。



8月8日と9日には医療職に関心のある高校生が新庄徳洲会病院を見学しました。普段は見ることのできない医療現場を見学した後は、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士の先輩方から、多くの質問に答えていただきました。



9月5日には、「進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～」を大蔵中学校3年生を対象として開催しました。今年度第1回目となった今回は、薬剤師、看護師、介護福祉士を講師にお迎えして、仕事の内容とともにこの仕事を選んだ理由や魅力などについて講演していただいた後、各職種に分かれて体験学習を行いました。生徒たちは、バイタルサインの測定や滴下速度の体験、軟膏練り、シロップ計量、車いすを用いた体験等に興味深く取り組み、医療・介護職への関心が深まったようです。また、当日は実習で来ていた山形大学医学部看護学科の看護学生7名にも参加いただき、体験学習時の指導・補助にご協力いただきました。



[保健企画課 29-1257]

被災者の生活再建を支援 ～秋田県被災地応援職員派遣～

今年7月、秋田県では大雨により大きな被害を受けたことから、県では8月16日～31日の間、4班に分け順次被災地に応援職員を派遣しました。

最上総合支庁からも派遣職員が選出され、出発式を行い派遣職員の激励を行いました。また、派遣職員の代表者からは、被災者の一日も早い生活再建に向け頑張ってくるとの思いが述べられました。

被災地では、被災された方々が速やかに住宅の罹災証明を受け、生活再建の支援が受けられるように、被災された住宅等を訪問し、被害状況の確認や聞き取りを行う等、家屋の被害認定業務に従事してきました。

[防災安全室 29-1209]



現地確認（浸水深の測定）



出発式（8月28日）

高坂ダムの流木を有効活用へ！

9月8日、高坂ダムではダム湖から引き上げた流木の提供を行いました。

流木の引き上げ量が多い年はバイオマス発電等で活用できるよう事業者へ売却していますが、今年度は発生量が少なかったため、資源の有効活用と県の処分経費削減として希望する方々へ提供しました。

当日は、県内各地から多数の方にお越しいただき準備していた全ての流木を提供することができました。



[高坂ダム管理課 63-2344]

おらだが やらねで だれがやる！

9月21日、最上総合支庁において、「地域防災力向上セミナー」を開催しました。山形県自主防災アドバイザーの齋藤昭氏を講師にお迎えし、『おらだが やらねで だれがやる！』、『まさか』は必ず起きる みんなで備えを！』と題した講演をいただき、全国各地の「自主防災組織」の活動事例などを交え、地域の自主性や結びつきを生かした防災活動の重要性について、お話しいただきました。

県としても、引き続き「自主防災組織」の組織率の向上・活性化に向けて、取り組みを進めてまいります。

[防災安全室 29-1209]



「東北のへそ」三県交流まつり

9月12、13日、仙台市勾当台公園市民広場において、宮城県大崎地域、秋田県雄勝地域、山形県最上地域の観光・物産・郷土文化をPRする、「東北のへそ」三県交流まつりを開催しました。

最上地域からは14店が出店しました。未来創造戦士ユメリオンによる最上地域のPRや、きてけろくん、かむてん、うめ子ちゃん、せんどうくんの登場もありました。



[観光振興室 29-1311]

道路功労者表彰

鮭川村の下旬潜自治会が公益社団法人日本道路協会から「道路功労者」として表彰され、8月31日に表彰状伝達式が行われました。

住みやすい地域づくりを目指し、道路美化活動を通して社会貢献と地域の親睦を目的とし、主要地方道新庄鮭川戸沢線約2.6kmの清掃や草刈活動を続けられております。

下旬潜自治会の方からは「会員は高齢化により活動も思うようにいかないが、これからも地域の方々と一緒に道路の美化運動に努めていきたい。」とのお話がありました。

[道路計画課 29-1444]



令和4年度優良工事等を表彰

山形県建設技術協会最上支部では、最上地域の建設技術の向上を目的に、優良な工事及び業務の施工者、並びに優良な技術者を表彰しています。

9月20日に最上総合支庁講堂において、令和4年度優良工事等の表彰を行いました。表彰された方は、以下のとおりです。

【優良現場代理人表彰】

- ・早坂 和幸 氏 (株大場組)
- ・沓澤 宗則 氏 (沼田建設株)
- ・佐藤 勇太 氏 (株新庄・鈴木・柴田組)

【優良担当技術者表彰】

- ・富樫 伸一 氏 (株双葉建設コンサルタント)
- ・安食 信和 氏 (株双葉建設コンサルタント)
- ・菅 勝美 氏 (株結城測量設計コンサルタント)
- ・松田 龍哉 氏 (大和工営株)

[建設総務課 29-1391]

産地研究室研究情報 野菜セミナー・にら収穫機実演会を開催！

9月8日、産地研究室で開発した最新技術を迅速にお伝えし、生産者等との意見交換により生産現場の課題に沿った試験研究を進めるため、にら収穫機実演会と野菜セミナーを開催しました。

今回は、内容がより分かり易く伝わるように、試験圃場で、品目毎に作物の生育状態を見ながら実施しました。



新技術に対する作業の仕方などの率直な意見が多く出されました。
(写真は参加者によるにら収穫機実演)

[産地研究室
22-2201]

最上地域「やまがた縁結びたい」人材育成セミナー 地方から考える最近の婚活事情と 独身者への寄り添い方・支え方のコツ

9月6日、ゆめりあを会場に、一般社団法人日本結婚支援協会代表理事の田口智之氏をお迎えし、「婚活をめぐる最近の情勢」や「結婚を希望する方を支えるための留意点」などの講演をいただき、ボランティア仲人として活動していくうえでの基礎知識を学びました。24名の参加者は、様々な事例から結婚を望む男女の幸せづくりの応援の意義を確認しました。今後「やまがた縁結びたい」の方との懇談会も予定しておりますので、興味のある方は子ども家庭支援課までご連絡ください。

[子ども家庭支援課 29-1245]



お知らせ



巡って、旅する。 秋の最上庄内まるごとスタンプラリー開催！

最上・庄内地域を「駅周辺施設」、「立寄り温泉施設」、「観光立寄り施設」の3テーマで楽しむスタンプラリーです。車や鉄道などで各地を旅してスタンプを集め、両地域の魅力を“まるごと”味わってください！

■期間

令和5年10月1日(日)～令和6年1月8日(月・祝)

■参加方法

3つのテーマごとに2つ、合計6つのスタンプを集めて応募すると、抽選で食事券や最上・庄内地域の特産品が当たります。

また、最上・庄内両地域から、スタンプを3つずつ集めた方には、各地域の温泉施設等で使える宿泊助成券が当たるチャンスも！ぜひご応募ください。

[観光振興室 29-1312]

マルコの蔵(金山町)



若あゆ温泉(舟形町)



やまがたフラワー フェスティバル2023

入場
無料

県内最大の花の祭典を開催します。
フォトスポットやスタンプラリーなど、楽しみながら県産花きに親しめるイベントです。

ぜひ、お越しください！

日時：令和5年10月14日(土)10～16時
15日(日)10～14時

場所：すぽーていあ
(新庄市金沢1147)

内容
・県産花きの品評会 & 花の展示・即売会
・花関連作品の展示
・花のワークショップ
・スタンプラリー等



<R4品評会の様子>

[農業振興課 29-1315]

今年もやります★フードドライブ★

ご家庭で買いすぎてしまったり、もらったけれど使う予定がない食品はありませんか？

もしありましたら、ぜひお持ちください。フードバンク活動団体へ提供し、食の支援を必要としている世帯や子供食堂等へお渡しします。家庭から食品ロスを減らすためご協力をお願いします。

日時：令和5年10月18日(水)8～16時
令和5年10月19日(木)8～13時

場所：最上総合支庁1階ロビー

対象食品：未開封のもので、賞味期限が1か月以上残っており、常温保存できる食品

(お米は2021年産以降のもの。アルコール飲料を除く。)

[環境課 29-1287]

「おいしい適塩ランチ」第3弾

今年度第3回目の「おいしい適塩ランチ」を提供します。

日時：令和5年10月19日(木) 11:30～

場所：最上総合支庁食堂「千起」

価格：600円(100食限定)

【メニュー】

- ・きのこ豚肉のトマト煮
- ・炒め野菜のみそ汁
- ・さつまいもサラダ
- ・フルーツ



※第2弾の写真

秋の味覚きのこやさつまいもを使用しています。塩分控えめでもおいしいランチをお試しくささい。
[地域健康福祉課 29-1267]

最上地域みんなで子育て応援団

参加者募集

～みんないっしょ～ 親子でスポーツ!

親子で元気いっぱい体を動かしましょう。遊びながら楽しく体を動かせる運動遊びです。そのほかヨガやダンス体験もあります。ぜひご参加ください。

日時：令和5年11月4日(土) 9:30～12:00

場所：すぽーていあ(新庄市金沢1147)

対象：幼児～小学校低学年くらいのお子様と保護者など

参加料：無料(事前申込みが必要)

申込先：二次元コード又は、子ども家庭支援課へ

申込締切：令和5年10月23日(月)

[子ども家庭支援課 29-1245]



ジモト大学オープンキャンパス 2023 開催!

新庄・最上ジモト大学の取組みを地域の皆さんに知っていただくため、オープンキャンパスを開催します。取組みに関するパネルや作品の展示のほか、中高生を対象に実際のプログラムの体験ブースも設置します。皆さまぜひお立ち寄りください!

日時：令和5年11月11日(土) 10:00～15:00(予定)

場所：新庄市民プラザ2階
ロビー・ギャラリー

※新庄市教育の日「コスモスデー」記念行事と同時開催です。

[連携支援室 29-1236]



誰もが主役・輝く最上のひとづくりシンポジウム

男女共同参画を啓発するシンポジウムを最上管内8市町村と共同で開催します。管内で活躍する4名の女性をパネリストとしてお迎えして活動についてお話をいただきます。参加希望の方は各市町村担当課又は子ども家庭支援課へお申し込みください。

日時：令和5年11月19日(日)

13:30～15:30

場所：ゆめりあホール
アベージュ

[子ども家庭支援課
29-1245]



第8回最上小国川写真コンテスト 作品募集中!

最上小国川清流未来振興機構では、「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマにした写真コンテスト応募作品を募集中です。最上小国川の魅力を撮影した作品をぜひご応募ください。

募集期間：令和5年11月30日(木)まで

入賞：最優秀賞1点、優秀賞3点、入選4点、特別賞3点、鉄道特別賞1点程度

※賞金のほか最上小国川流域の特産品を贈呈

審査結果発表：令和6年1月頃予定

詳しくはHPをご覧ください。

[連携支援室 29-1238]



★毒きのこによる食中毒に 気をつけましょう!

山形県では、毎年のように毒きのこを食用と間違えたことによる食中毒が発生しております。食用のきのこ確実に判断できないきのこは絶対に…

「採らない! 食べない!

売らない! 人にあげない!」

をお願いします。

きのこを食べて体調が悪くなった場合、残品を持ってすぐに病院を受診しましょう。

[保健企画課生活衛生室
29-1260]



発行日：令和5年10月12日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



X (旧 Twitter)



HP

